

○タイトル『千葉観光課6 粒すけ』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

○あらすじ

千葉県は外国人の観光客の少なさに悩んでいた。そこで外国人向け観光を専門とする『観光課』に県は任せるが……。観光課は一番若い田宮に「千葉のブランド米「粒すけ」を外人にもっと食べてもらいたい」と任せる。ボブは「世界中で親しまれてる米だけど、より「粒すけ」に親しまれた方がいいね」と言う。

田宮は「いっそ、農業体験をさせて、収穫し

た「粒すけ」をおにぎりにして愛着を持って  
もらおう！」と言う。観光なのに農業体験と  
いう大変なのを！？果たして、外人に「粒す  
け」はウケるのか？

シーンⅡ：観光課のオフィス

（オフィスの風景、田宮がデスクで書類を見  
ている）

田宮…（ため息）外国人観光客、どうしたら増  
えるんだろう。

（ボブが元気よく入ってくる）

ボブ…田宮くん、元気ないね！どうしたの？

田宮…外国人観光客が少ないって、上からの  
プレッシャーがすごくて…。

ボブ…それなら、何か楽しいことを考えよう！

千葉の「粒すけ」ってブランド米、もっと外国人に食べてもらいたいっていう話があったよね？

田宮…うん、でもどうやって…？

ボブ…世界中で米は親しまれてるけど、「粒すけ」をもっと特別にする方法を考えよう！

田宮…（ひらめく）そうだ！いっそ、農業体験をさせて、収穫した「粒すけ」をおにぎりにして愛着を持ってもらうっていうのはどう？

ボブ…それは面白い！観光なのに農業体験、外国人は驚くだろうね！

シーン②：農場での体験ツアー

（外国人観光客たちが集合している。田宮とボブが迎える）

田宮…みなさん、今日は千葉のブランド米「粒すけ」の農業体験に参加していただきます！

観光客「（アメリカ人、元気よく）…これは初めてだ！楽しみ！

観光客「（フランス人、驚きつつ）…農業体験？これが観光…？

ボブ…（笑顔で）そう、収穫して、自分たちでおにぎりを作るんだ！すごく楽しいよ！

観光客「（イギリス人、半信半疑で）…まあ、やってみるか。

シーン ☁ :: 田植え体験

（観光客たちが田んぼで田植えをしている）

田宮…（指導しながら）こうやって、一つ一つ丁寧に植えていきます。

観光客 ー…（笑いながら泥だらけ）これは意外  
と楽しい！

観光客 ㊦…（苦戦しながら）難しいけど、やり  
がいがあるね。

ボブ…（手伝いながら）そうだろ？日本の農業  
は、心のこもった作業なんだ！

シーン ㊦…収穫とおにぎり作り

（観光客たちが収穫した米でおにぎりを作っ  
ている）

田宮…（おにぎりを握りながら）自分で収穫し  
た米で作るおにぎり、特別な味がするはずで  
す。

観光客 ㊦…（おにぎりを握りながら）自分で作  
ったから、なんだか愛着が湧いてきた。

観光客 〇：（興奮気味に）ああ、早く食べたい！

（全員が完成したおにぎりを手に取り、一口かじる）

観光客 〇：（目を閉じて味わいながら）おお、これは…！

観光客 〇：（感動して）口の中で米が踊ってるみたいだ！

観光客 〇：（うっとり）うわあ、甘くてもちもちしてて、本当に美味しい！

田宮：（微笑みながら）これが「粒すけ」の力です。みなさん、どうですか？

観光客 〇：（夢中で食べながら）最高だよ！おかわりしたいくらいだ！

観光客に…(笑顔で)これなら、「粒すけ」が世界中で愛されるのも納得だね。

ボブ…(満足そうに)そうだろ？これが千葉の魅力さ！

シーン ♪ 観光課のオフィス

(オフィスに戻り、田宮とボブが話している)

田宮…思った以上にうまくいったね。みんな「粒すけ」に愛着を持ってくれたみたいだ。

ボブ…そうだね、やっぱり体験型の観光はいね。次は何をしようか？

田宮…(笑顔で)そうだな、次は…千葉の牛乳を使ったチーズ作りとか？

ボブ…それも面白そうだ！よし、次のアイデ

アも楽しくいこう！

（エンディング音楽が流れ、シーンがフェードアウト）

（終わり）